

平成24年10月1日

日向市長 黒木健二殿

日向市浜町三丁目29番地  
日向市給食センター再考会議  
発起人議長 黒木紹光

発起人

## 公開説明会開催要請書

現在日向市において進められようとしている給食センター建替計画に関し、私のみならず、つい最近になって計画の概要を知った多くの市民から、当計画への疑問の声が沸き起こっております。

それらの疑問の主要な5項目を紹介しますと以下ようになります。

尚、入手した情報は限られており、決して十分ではない情報を元に記述していることから、場合によっては誤りがあるかもしれませんが、そうした部分を含め、当局に対し徹底した情報公開及び説明を求めます。

### 1. 総事業費16億円の予算規模

16億円の内訳として、厨房機器購入費4億5800万円、建設費9億7800万円と聞いております。一言で言いますと法外な金額です。市民の誰に聞いても「実質は半額以下の筈。」という意見が圧倒的多数です。厨房機器を除いた建設費とは、鉄骨2階建ての建築費及び給排水・電気設備、外構工事費に当たりますが、延床面積3,000㎡で計算しますと坪単価108万円と、高級マンションやホテルを凌ぐほどの高級仕様になります。

財源は約1億円が国庫支出金、残り15億円は合併特例債を含む借金と聞いています。つまり、16億円もの大判振舞いをして、後々借金のつけを市民に負担させる、それが実態ではないでしょうか。

### 2. 厨房機器購入債務負担行為

入手した資料に「スケジュール的に平成24年度業者選定・機器配置協議が必要」という説明が書かれてあります。供用開始が平成26年9月（2年後）で、2年も前の現在、選定が必要というのは疑問です。私が調べた範囲だと、島根県八雲村のケース（平成14年9月オープン）では、1年前の平成13年9月に債務負担を議会議決しており

ます。これほど異常に早く業者を決めなければならない理由とは何でしょうか？

また、選定方式としてプロポーザル方式（提案をさせてそれを選定委員会で評価し選定した業者と契約を結ぶ）が採用されていますが、もしこれを密室で行って結果だけを公表するなら、非常に不透明な公明正大さを欠いた選定となります。すなわち、選定委員の人選、評価基準、審査内容、金額の相对比较等を全て公開で行ってこそ公正中立を保持できるということです。

さらに、厨房機器選定を巡って全国で疑惑が取り沙汰されている例があることも懸念しています。3例のみ紹介しますと、弘前市西部学校給食センター厨房設備工事入札にかかる訴訟（弘前市西部学校給食センター厨房設備工事の入札の過程で、私的独占的状況があり、自由な競争による入札が行われなかったとされる）、「上士幌贈収賄事件」（厨房機器納入メーカー選定をめぐる疑惑、2001年2月3日収賄容疑での現職町長逮捕）、不自然な厨房設備工事受注？東近江市学校給食センター（東近江市は湖東学校給食センターを整備するにあたり、厨房設備業者を過去の例と同じようにプロポーザル方式で決定するとし、…「今回もA I H Oに決まっているのでは？」などと、東近江地域でこれほど度重ねて同一業者が受注する不自然さに、様々な憶測が飛び交う。）。

紹介しました3例の厨房機器はすべてアイホーというメーカーですが、もし現在日向市が進めようとしている選定の対象にアイホーが含まれているのであれば、理由を言うまでもなくそれは避けなければいけません。血税を使う意味において、これだけの疑惑がある時点で候補としては失格です。まさかアイホーが含まれていることはありませんか？

### 3. 情報の隠蔽

今回私はたまたま市議会議員に知り合いがいたので、当該事業の情報を知る機会を得ました。私が得たばかりの情報を提供した一般市民のほぼ全員が「全く知らなかった。」という答えでした。某市議会議員に確認しましたら「6月議会でその内容を初めて知らされた。」という返事でした。

16億もの血税を投入する大事業について、一般市民のみならず市議会議員にも予算年度まで秘してことを進めるというのは、非常識極まると言ってよいのではないのでしょうか。市の広報において重要な役割を担う筈のホームページにも情報公開は一切ありません。「開いた口が塞がらない」とはこのことです。

これは意図的に情報を秘していたとしか考えられません。一般市民や市議会議員には知られたくない何かがおありでしょうか？一体誰のための行政でしょうか？このことのみをもっても、市は市民に謝罪し、減給を含めた処分を執行しけじめをつけるべきです。

#### 4. 東郷給食センターの廃棄

新給食センター開業後は、未だ10年余りしか使用していない東郷給食センターを廃棄処分にするという聞いています。恐らく廃棄損が1億6千万円程度発生すると推測します。その責任は一体どうするのでしょうか？経済苦境に喘ぐ一般市民に対して、1億6千万円もの巨額の損失を受け入れさせることについてどのように申し開きするつもりですか？

#### 5. 経常収支の検証

入手した資料の中には、供用開始後の収支の検討資料は全くありませんでした。推測ですが、厳密な検討はなされていません。こういうのを一般に「どんぶり勘定」と言っています。重ねて「開いた口が塞がらない」とはこのことです。

民間企業であれば、大規模な事業投資をする場合は、初期投資を含め償却年数に見合う長期収支を試算し、投資の的確性を判断します。そうした基本的な検証さえ欠く公的部門の杜撰さを目の当たりにし、寒気すら感じます。私が指摘するまでもなく、当事業に投じる血税は、その後の運営費を含めれば数十億に留まりません。それすら具体的検討対象にしていないなど論外です。それとも、余程16億円を使いたい理由が何かあるのでしょうか？

以上、主要な疑問5項目を紹介いたしました。

尚、当問題は日向市の将来を左右する、かつ日向市政のあり方を問う大問題であるという認識の下に、私は急遽数名のメンバーと共に「日向市給食センター再考会議」を設置しました。すなわち、当問題を事業の白紙撤回を含めてその是非を協議し、市民の総意を形成するつもりです。これまで、市民への広報・周知を怠り、是非を諮らずに事業計画を進めた市の非民主的な手法は許されるものではありません。

つきましては11月16日以降早期に、当事業に関し公開の場（広い会場）で、日向市民に対して直接説明する機会「給食センター公開説明会」の開催を要請いたします。

ご返事につきましては、開催日時を含めた事前の打診を経て10月9日（火）必着、文書にてお願いします。また当然ながら、開催決定後は、その開催情報の周知徹底をはかり、広く市民へ参加を呼びかけていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

「日向市給食センター再考会議」におきましては、先般発起人集会を執り行ないました。従いまして当要請は発起人の総意に基づくものであり、連名とさせていただきます。

以上